

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：

使用教科書：（ Crown English Communication Ⅰ ）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域をバランスよく習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを吟味し、英語でまとめ、発表する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】英語の基礎的な力を更に増強させ、より発展的な内容を英語で理解する力をつける。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランスよく習得し、満遍なく伸ばすことを心掛ける。	英語の文構造を分析し、文法や語法を更に増強させて、より発展的な内容を英語で理解し、発表する力をつけていく。	必要に応じて日本語とすることで英語文化の背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に前向きに取り組むことを促していく。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 不定詞・動名詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 オノマトベの重要性と、その日英の違いを学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 言語と日本文化に触れる	・指導事項 オノマトベについて、またその日/英の共通点や違いなどについての レクチャーから、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○				10
	A 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 現在完了、助動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 逆境にあるときの生き方を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 著名人の生き方に触れる	・指導事項 池江璃花子さんの生き方や逆境への向き合い方について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○				10
	定期考査							○	○		1
	A 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 関係詞、分詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 壁画アーティストの活動を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 芸術と国際交流の大切さに触れる	・指導事項 ミヤザキケンスケさんの活動や考え方について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○				10
	A 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 完了形、関係詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみの現状とその対策を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題に触れる	・指導事項 ポイヤン・スラットさんの、海からプラスチックを除去する活動について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○				10
	定期考査							○	○		1
2 学 期	A 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 分詞構文、同格の活用 【思考力、判断力、表現力等】 人間と動物との共生を探究する 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題と科学技術を考える	・指導事項 人間と動物の共生や環境保護に関するグドール博士へのインタビューについて、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○				10
	A 単元 Lesson 6、7 【知識及び技能】 関係副詞、SVOCの活用 【思考力、判断力、表現力等】 AIが社会に与える影響を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 西洋文明に対する様々な考え方を学ぶ	・指導事項 AIの問題点などについて、また、サモアのリーダーによる時間にとらわれ過ぎる西洋文明を批判するスピーチについて、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材 教科書、サブノート等	○	○	○	○	○				20
3 学 期	A 単元 Lesson 8 【知識及び技能】 仮定法過去、付帯状況の活用 【思考力、判断力、表現力等】 戦争の悲惨さと平和の重要性を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 平和の重要性を学ぶ	・指導事項 20世紀を振り返る写真展のガイドの解説について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○				10
	A 単元 Lesson 9、10 【知識及び技能】 非制限用法、仮定法過去完了の活用 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭返還問題について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 著名人の人生から生き方を学ぶ	・指導事項 大英博物館とイースター島民のそれ以外の主張などについて、また、M・シュルツさんが考える「人生の成功」について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教材	○	○	○	○	○				20
										合計	102

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語(英語) 科目 論理・表現Ⅰ

教科： 外国語(英語) 科目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：

使用教科書：（ Vision Quest English Logic and Expression I Advanced ）

教科 外国語(英語) の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域をバランスよく習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを論理的にまとめ、英語で表現する力を培う。

【学びに向かう力、人間性等】英語の構造の基礎的な力を定着させ、より応用的な内容を英語で表現する力を育成する。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランス良く習得し、満遍なく伸ばすことを目標とする。	自分の考えを論理的にまとめられるように、日頃より意識をして物事に取り組み、基本的な英文を用いて表現し、理解を深めていく。	必要に応じて日本語とすることで英語の構造の基礎的な力を定着させ、かつ文化背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に取り組むことに努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】文の種類 【思考力、判断力、表現力等】 相づちを打ったり、聞き直すことが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 イントネーションに気を付けて、相互紹介をする	・指導事項 文の種類を習得する ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	英語の基礎となる文の種類を基礎を固め、平易な文を聞き、読み、話し、書くことが出来る。	○	○	○	4
	B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】動詞と文型【思考力、判断力、表現力等】 賛否を表明することが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 聞き直す力をつけ、学校生活を紹介する	・指導事項 様々な種類の動詞、文型を習得する ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	様々な種類の動詞を用い、適切な文型を使って基礎的な文を聞き、読み、話し、書くことが出来る。	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1
	C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】時制 【思考力、判断力、表現力等】 計画や予定を表現することが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 計画を提示する力をつけ、観光案内をする	・指導事項 12種類の時制を習得する ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	現在、過去、未来を基本とした12種類の時制を習得し、それらを用いて基礎的な文を聞き、読み、話し、書くことが出来る。	○	○	○	4
	D 単元 Lesson 4・5 【知識及び技能】完了形・助動詞 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な完了表現、助動詞を活用することが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 自己の趣味や将来を語る	・指導事項 完了形、助動詞を習得する ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	① 完了形を用いて、現在・過去・未来の完了・結果、継続、経験を表す基本的な英文を書くことが出来る。 ② 助動詞を用いて、能力・許可・義務・禁止・推量などを表す基礎的な文を聞き、読み、話し、書くことが出来る。	○	○	○	8
定期考査								○	○		1	
2 学 期	E 単元 Lesson 6・7 【知識及び技能】受動態・不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 感情表現を受動態や不定詞を用いて表現出来る 【学びに向かう力、人間性等】 原因・理由を用いて日常生活を話し合う	・指導事項 受動態、不定詞を習得する ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	① 受動態を用いて、喜ぶ、驚くなどの感情を表す基本的な英文を書くことが出来る。 ② 不定詞を用いて、感謝や謝罪などを表す基礎的な文を聞き、読み、話し、書くことが出来る。	○	○	○	8
	F 単元 Lesson 8・9・10 【知識及び技能】動名詞・分詞・関係詞 【思考力、判断力、表現力等】 感情表現を語法を用いて表現出来る 【学びに向かう力、人間性等】 異文化理解に努める	・指導事項 準動詞の動名詞と分詞、関係詞の基礎を固める ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	① 動名詞を用いて、勧誘や申し出を表す基本的な英文を書くことが出来る。 ② 分詞を用いて、賛否を表す基礎的な文を聞き、読み、話し、書くことが出来る。 ③ 関係詞を用いて文化を説明することが出来る。	○	○	○	12
3 学 期	G 単元 Lesson 11 【知識及び技能】比較 【思考力、判断力、表現力等】 提案の表現をすることが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 比較表現を用いて国際問題を考える	・指導事項 様々な比較表現に慣れる ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	① 比較の3用法を定着させ、意見や主張を述べる事が出来る。 ② 比較の応用表現を駆使して、社会問題を読み解くことが出来る。	○	○	○	4
	F 単元 Lesson 12 【知識及び技能】仮定法 【思考力、判断力、表現力等】 助言の表現を用いることが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 仮定法を用いて、社会問題に取り組む	・指導事項 仮定法の使い方を学ぶ ・教材 教科書、副教材A1pha ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	① 仮定法過去、仮定法過去完了の基礎を固め、基本的な英文を書くことが出来る。 ② 仮定法を応用させ、助言や提案をする英文を発表することが出来る。	○	○	○	4
											合 計	50

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

英語

科目

英語コミュニケーションⅡ

教科：英語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

教科担当者：

使用教科書：（Crown English Communication Ⅱ）

教科 英語

の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り、発表）」の4技能5領域をバランス良く習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを吟味し、英語でまとめ、発表する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】英語の基礎的な力を更に増強させ、より発展的な内容を英語で理解する力をつける。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランスよく習得し、満遍なく伸ばすことを心掛ける。	英語の文構造を分析し、文法や語法を更に増強させて、より発展的な内容を英語で理解し、発表する力を向上させる。	英語を始め、多様な文化の背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に積極的に取り組む機会を促していく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 準動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 翻訳できない言葉について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 言語と日本文化に触れる	・指導事項 翻訳できないことばについて学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①翻訳できないことばについての文章を読む。 ②日英の動物のことわざについての会話を聞き取る。 ③英語の動物のことわざとその用例について、話し合う。 ④英語の動物のことわざについて、その意味と用例を説明する。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 準動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 教育環境について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 国際貢献について考える	・指導事項 身の回りのボランティア活動体験を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①アジアの国々の子どもたちへ絵本を届ける活動についての文章を読む。 ②身の回りのボランティア活動についての会話を聞き取る。 ③ボランティア活動をおこなう団体について、調べて話し合う。 ④自分が参加したいボランティア団体へ応募の手紙を書く。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	A 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 準動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 観光を通して障がい者を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 多様性について理解を深める	・指導事項 障がい者を取り巻く環境を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①障がい者のために活動する人物の文章を読む。 ②車椅子を使う友人のための旅行プランについての会話を聞き取る。 ③車椅子を使う友人のための旅行プランについて、話し合う。 ④車椅子を使う友人のための旅行プランを作成する。	○	○	○	15
	A 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 関係詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 講演を聞き平和を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 国際協力の意義を考える	・指導事項 「国境なき医師団」での活動体験を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①「国境なき医師団」での体験についての文章を読む。 ②重大な決断を迫られる人々についての会話を聞き取る。 ③筆者の決断について、賛成・反対それぞれの立場から意見交換をする。 ④筆者の決断について、自分の意見を書く。	○	○	○	15
定期考査								○	○		1	
2 学 期	A 単元 Lesson 5,6 【知識及び技能】 助動詞と前置詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツと芸術について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 異文化に触れる	・指導事項 スポーツにおけるメンタル・タフネスについて学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①スポーツにおけるメンタル・タフネスについての文章を読む。 ②困難な状況において役立つセルフ・トークについての会話を聞き取る。 ③職業を選ぶ際の優先事項について、話し合う。 ④自分に合う職業について、自分の考えを書く。	○	○	○	15
	A 単元 Lesson 7,8 【知識及び技能】 仮定法の活用 【思考力、判断力、表現力等】 人権と科学技術について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 共生する世界環境を探索する	・指導事項 自然と人間の共存について考える ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①自然の模倣から新しいデザインを生み出すバイオミミクリーについての文章を読む。 ②自然と人間の共存についての会話を聞き取る。 ③フェアトレードが取り組む課題について調べ、発表する。	○	○	○	15
3 学 期	A 単元 Lesson 9 【知識及び技能】 未来形の活用 【思考力、判断力、表現力等】 経済の仕組みについて学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 生活環境を考える	・指導事項 より良い選択を手助けするナッジの仕組みを理解する ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①人々のよりよい選択を手助けするナッジの仕組みについての文章を読む。 ②ごみの分別を促すナッジについての会話を聞き取る。 ③学校内の問題を解決するためのナッジを考え、図などとともにアイデアをまとめる。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 10 【知識及び技能】 分詞構文の活用 【思考力、判断力、表現力等】 科学の不思議について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙探査の意義を考える	・指導事項 宇宙探査の意義について探究する ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①リチャード・ドーキンス博士による地球外生命体の探索についての文章を読む。 ②宇宙探査についての会話を聞き取る。 ③宇宙探査の意義について自分の考えを書き、意見を交換する。	○	○	○	10
											合計	102

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語(英語) 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語(英語) 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：

使用教科書： ( Vision Quest English Logic and Expression II Ace )

教科 外国語(英語) の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す(やり取り、発表)」の4技能5領域をバランスよく習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを論理的にまとめ、英語で表現する力を培う。

【学びに向かう力、人間性等】英語の構造の基礎的な力を定着させ、より応用的な内容を英語で表現する力を育成する。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す(やり取り)」「話す(発表)」の4技能5領域をバランスよく習得し、満遍なく伸ばすことを目標とする。	自分の考えを論理的にまとめられるように、日頃より意識をして物事に取り組み、基本的な英文を用いて表現し、理解を深めていく。	必要に応じて日本語とすることで英語の構造の基礎的な力を定着させ、かつ文化背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に取り組むことに努める。

単元の具体的な指導目標	5・教材教科書副教材 Grammar Coll	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や り 取 り)	話 (発 表)	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1・2 【知識及び技能】適切な主語及び動詞を用いる 【思考力、判断力、表現力等】相づちを打ったり、聞き直すことが出来る 【学びに向かう力、人間性等】相互紹介をする	・指導事項 主語や動詞を使い分ける 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	A 単元 Lesson 1・2 【知識及び技能】適切な主語及び動詞を用いる 【思考力、判断力、表現力等】相づちを打ったり、聞き直すことが出来る 【学びに向かう力、人間性等】相互紹介をする 定期考査	・指導事項 主語や動詞を使い分ける 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	4 1
	B 単元 Lesson 3・4 【知識及び技能】時制・助動詞 【思考力、判断力、表現力等】賛否を表明することが出来る 【学びに向かう力、人間性等】聞き直す力をつける	・指導事項 助動詞を習得する ・教材 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	B 単元 Lesson 3・4 【知識及び技能】時制・助動詞 【思考力、判断力、表現力等】賛否を表明することが出来る 【学びに向かう力、人間性等】聞き直す力をつける	・指導事項 助動詞を習得する ・教材 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
2 学 期	C 単元 Lesson 5・6 【知識及び技能】品詞や情報を加える 【思考力、判断力、表現力等】原因・理由や結果を表現することが出来る 【学びに向かう力、人間性等】主張や理由の根拠を示す	・指導事項 品詞の識別を習得する ・教材 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	D 単元 Lesson 7・8 【知識及び技能】品詞・情報を加える 【思考力、判断力、表現力等】基本的な接続詞表現、語法を活用することが出来る 【学びに向かう力、人間性等】適切な要約を伝えることが出来る	・指導事項 品詞の識別を習得する ・教材 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	12
3 学 期	G 単元 Lesson 9・10 【知識及び技能】仮定、推量 【思考力、判断力、表現力等】数量表現をすることが出来る 【学びに向かう力、人間性等】プレゼンテーションを通して国際問題を考える	・指導事項 仮定や推量表現を習得する ・教材 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	F 単元 Lesson 11・12 【知識及び技能】比較、否定 【思考力、判断力、表現力等】助言の表現を用いることが出来る 【学びに向かう力、人間性等】ディベートを通して、社会問題に取り組む	・指導事項 比較や否定表現を習得する ・教材 教科書 副教材 Grammar Colleciton ・ICTの活用を随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	4
合計											50

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

英語

科目

英語コミュニケーションⅢ

教科： 英語

科目： 英語コミュニケーションⅢ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：

使用教科書： ( CROWN English Communication Ⅲ )

教科 英語

の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域をバランス良く習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを吟味し、英語でまとめ、発表する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】基礎的の確実な定着の下に、大学入学試験に対応出来るより発展的な内容を英語で理解する力をつける。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランスよく習得し、満遍なく伸ばすことを心掛ける。	英語の文構造を分析し、文法や語法を更に増強させて、大学入学試験に対応出来るより発展的な内容を英語で理解し、発表する力を向上させる。	英語を始め、多様な文化の背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に積極的に取り組む機会を促していく。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ ） （ ）	話 （ ） （ ）	書						
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 言語と思考について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 認知科学について考える	・指導事項 言語と思考の多様性について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①言語の特徴を整理する。 ②言語の多様性についての説明を聞き取る。 ③言語が思考を形成するかについて、話し合う。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 ロボットとテクノロジーについて学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 ロボットの人間の共存について考え 定期考査	・指導事項 ロボットテクノロジーについて学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①人間とロボットの関係の未来について、自分の気持ちを述べる ②時代や登場人物などの場面設定と展開や結末など話の筋をまとめている。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 フェイクニュースの危険性と対処法について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 誤情報かどうかについての理解を深	・指導事項 フェイクニュースの危険性を学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①フェイクニュースへの対応について、賛否を述べる表現や自分の意見が言える。 ②友だちに向けた同意や反論、忠告や問いかけなどのメッセージがまとめられる。	○	○	○	15
	A 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 最先端義足の開発者の活動について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 最先端義足の未来について考える 定期考査	・指導事項 最先端義足について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①技術が障がいを取り除くだけでなく、人間の能力を拡大させることについて、理由や例を述べる表現を使うことができる。 ②技術が障がいを取り除くだけでなく、人間の能力を拡大させることについて、本課で読んだことをもとに主張、理由、結論をまとめることができる。	○	○	○	15
									○	○		1
2 学 期	A 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】先延ばし癖の克服方法について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 自分が先延ばし癖かどうかを考える	・指導事項 先延ばし癖の克服について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①「先延ばし癖」への対処法について、理由や例を述べる表現や自分の気持ちを述べる表現などを用いて表現できる。 ②本課で読んだことをもとに意見を言える。	○	○	○	15
	A 単元 Lesson 6 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 家電・電子ゴミ問題について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 企業戦略と消費者運動を考える	・指導事項 家電・電子ゴミの問題について考える ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①e-wasteの問題に対処するために個人ができることについて、理由や例を述べる ことができる。 ②本課で読んだことをもとに、主張、理由、結論をまとめることができる。	○	○	○	15

3 学 期	A 単元 Lesson 7 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 武装解除に携わる瀬谷氏の活動について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 瀬谷氏の生き方とメッセージについて	・指導事項 武装解除に携わる瀬谷氏の活動について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①世界平和や戦争で被害を受けている人々のために自分ができることについて、理由や例を述べる表現や自分の気持ちを述べる ②意見を交換したりする技能を身に付けている。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 8 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 スーパークローン文化財について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 美術品の補修と複製について考える	・指導事項 スーパークローン文化財について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①自分が美術館の学芸員だったらどのような複製展示を企画したいかについて、例を述べる ②自分の気持ちを述べる表現などを用いて、自分の意見を書いて伝える技能を身に付けている。	○	○	○	10
											合計	102

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 英語 科目 論理・表現Ⅲ

教科：英語

科目：論理・表現Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：

使用教科書：（Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ）

教科 英語

の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域を修得し、対話の展開の仕方や論理構成について理解している。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを論理的にまとめ、コミュニケーションを行う場面に応じて、英語で表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】英語の構造の基礎的な力を身につけ、より応用的な内容を英語で表現することができる。

科目 論理・表現Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランス良く習得し、対話の展開の仕方や論理構成について理解することができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても日常的话题や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら伝え合うことができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝えようとする事ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 Lesson 1, 2 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 1,2章 ・ICTの活用 Teamsを活用	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。	○	○	○	4
	単元 Lesson3 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 3,4章 ・ICTの活用 Teamsを活用	グループ・ディスカッションの流れについて理解している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元 Lesson4,5 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 5,6章 ・ICTの活用 Teamsを活用	論理的なスピーチの展開方法について理解している。	○	○	○	4
	単元 Lesson 6, 7 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 7, 8, 9章 ・ICTの活用 Teamsを活用	記事を書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 Lesson 8, 9 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 10, 11, 12, 13, 14章 ・ICTの活用 Teamsを活用	レポートを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 Lesson 10 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 15, 16, 17, 18章 ・ICTの活用 Teamsを活用	効果的なプレゼンテーションの展開方法について理解している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>復習 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】論理の展開や構成を工夫して正しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 大学入試過去問題 ・ICTの活用 Teamsを活用</p>	<p>これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して、パラグラフを書くことができる。大学入試の過去問を参照しながら英作文を書くことができる。</p>	○	○	○	4
	<p>復習 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】論理の展開や構成を工夫して正しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 大学入試過去問題 ・ICTの活用 Teamsを活用</p>	<p>これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して、パラグラフを書くことができる。大学入試の過去問を参照しながら英作文を書くことができる。</p>	○	○	○	4
	<p>定期考査</p>			○	○		合計